



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

情報化社会の中で

座間市では、児童・生徒・保護者を対象に情報モラルの実態調査を行っています。御協力ありがとうございました。学校診断レポートが届きましたので、お知らせいたします。本校の児童の実態として、3つの特徴があげられています。

- ① SNS(Twitter, Instagram, SNOW, Snapchat)の利用率が高い傾向にある。特に Instagram の利用率が高い。
→ SNS を利用する上での写真等の取り扱いや、個人情報の発信について注意が必要である。
- ② 家庭でのルールを問う設問において、「特にルールはない」と回答した割合が高い傾向にある。
→ ルールを作っていくことが必要である。
- ③ オンラインゲームの利用率が増加している傾向にある。
→ オンラインゲームでの出会いやゲーム内での他者との関わり方について注意が必要である。

(児童が回答したものより)

情報化社会は、日々進化していて、後退することはない状況にあります。スマートフォン等の情報機器は、便利な道具であると同時に、使い方によっては、危険性の高い道具にもなります。私たちが生活の一部として活用しているこの道具は、今や私たちから切り離すことはできないものであるがゆえ、学校・家庭が一体となって、情報モラルについて考え、子供たちの安全・安

心を守っていく必要があると考えます。

学習指導要領（文部科学省が定めている教育課程の基準）に、「情報モラル」とは「情報化社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」とであると明記されています。この「情報化社会」の言葉の中に他者や自分を取り巻く集団や社会を視野に入れて考えるならば、情報モラルの育成は「親切、思いやり」「礼儀」「友情、信頼」「規則の尊重」等の道德教育との繋がりで捉え、日常生活において心を育てることと重ねて考えていくことが必要です。一方で情報ネットワークは知らない他者との繋がりがりや情報拡散等、危険な状況になることが非常に速いという側面もあることも念頭に入れておく必要があると考えます。

今年の6月に、5・6年生を対象にKDDIの方を講師としてお招きし、携帯電話教室を実施しました。SNS上での文字によるコミュニケーションの難しさや、思いが伝わりきれずに生じる誤解をきっかけとしたいじめ、オンラインゲームを通じて知らない人と出会う危険性やゲーム依存について、具体的な話をもとに学習する機会を設けました。外部機関との連携も大切にしながら今後も情報モラル教育について、多面的・多角的な視点に立ち、取り組んでいきたいと思っています。

ぜひ、御家庭の中でも、情報機器の利用のルールやオンラインゲームやSNS等の利用状況について話し合いをもっていただきたいと思います。よりよい利用の仕方について、子供たち自身が御家族とともに考える機会にしていだけたらと思います。